様式第１号（第１０条関係）

R6 年（2024 年）度業務実績報告書

提出日　2025　年　1　月　17 日

１．職名・氏名　教授　大島千佳

２．学位　学位　博士（看護学）、専門分野　基礎看護学、授与機関　石川県立看護大学、
授与年　2009 年

３．教育活動

⑴講義・演習・実験・実習
【学部教育】 ①　基礎看護学技術２単位（学部１年生） 内容・ねらい；看実践能力の習得を目指し、日常生活の援助技術およびバイタルサインの観察技術を学習する。 講義上の工夫；Evidence based Nursing を主軸に、解剖学的根拠を重要視した教育を行った。
②臨床看護学技術２単位（学部１年生） 内容・ねらい；看実践能力の習得を目指し、日常生活の援助技術および診療の補助技術を学習する。 講義上の工夫；Evidence based Nursing を主軸に、解剖学的根拠を重要視した教育を行った。
③フィジカルアセスメント１単位（学部２年生） 内容・ねらい；全身状態を的確に把握するために、フィジカルイグザミネーション技術、看護過程展開技術を学習する。 講義上の工夫；Evidence based Nursing を主軸に、解剖学的根拠を重要視した教育を行った。
④看護研究方法論１単位（学部３年生） 内容・ねらい；看護研究の意義、方法論を学び、論理的思考と研究倫理を身につける。 講義上の工夫；Evidence based Nursing を主軸に、論理的思考を重要視した教育を行った。
⑤卒業研究４単位（学部４年生２名） 内容・ねらい；看護研究の意義、方法論を学び、論理的思考と研究倫理を実践し、卒業論文の作成、研究発表を行う。 講義上の工夫；Evidence based Nursing を主軸に、論理的思考を重要視した教育を行った。
⑥基礎看護学実習Ⅰ　１単位（学部１年生） 内容・ねらい；既習の看護技術が実際の看護場面でどのように適用されているのかを観察し、日常生活援助技術の実践を通して、看護の役割・機能を学ぶ。 実習運営上の工夫；学生個々の意見や柔軟な発想を重視し、臨地で学ぶこと、患者と接することの喜びとやりがいを感じられるように配慮した。
⑦基礎看護学実習Ⅱ　２単位（学部２年生） 内容・ねらい；対象者の個別性に合わせた看護計画を実践、評価し、看護過程を展開するための基礎能力を習得する。 実習運営上の工夫；学生個々の意見や柔軟な発想を重視し、患者と接することの喜びとやりがい、論理的思考の重要性を感じられるように配慮した。
⑧看護マネジメント実習　２単位（学部１年生） 内容・ねらい；看護の有効的なリーダーシップとマネジメントの実際を学習する。 実習運営上の工夫；学生個々の意見や柔軟な発想を重視し、臨床管理者・臨床スタッフと密に関われるように配慮した。
⑨保健統計学　２単位（学部２年生）　病欠教員の代行として急遽担当した 内容・ねらい；集団における健康科学の方法論、記述統計、統計的推論の手法を学ぶ。人口・疾病統計や臨床研究を看護の場でどうのように活かすかを学ぶ。 講義上の工夫；統計ソフト Excel を使った演習を組み込みこんで、実践的な指導を行うことで統計学をより身近に感じられるように工夫した。

【大学院教育（看護福祉学研究科看護学専攻）】

⑩看護管理論　２単位（１年生）

内容・ねらい；医療・看護の質の管理、組織・管理や人材育成などの諸理論について理解を深め、看護管理の現状と課題を明らかにし今後のあり方を探求する。

講義上の工夫；種々の施設で勤務する現役の看護管理職者を招き、最新の知見を教授する

⑪看護マネジメント学特論　４単位（１年生）

内容・ねらい；保健医療福祉の政策を概観し必要な組織の構築や他組織と連携し協働するために看護の理念を掲げそれを具現化することができる能力を高める。

講義上の工夫；種々の施設で勤務する現役の看護管理職者を招き、最新の知見を教授する

【大学院教育（健康生活科学研究科）】

⑫博士課程後期課程２年次（D2）の指導学生１名に対して研究指導を実施し、その成果として論文投稿２編および学会発表２件を達成した。

(2)その他の教育活動

内容

①　学年主担任（看護学科２年生）：学生の大学生活全般に対するサポートを行った。

②　非常勤講師：福井県立看護専門学校「看護方法論Ⅶ(看護研究)」

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

【０本】

②学術論文（査読あり）

・Yoshimi Moriwaki, Natsuki Nakayama, **Chika Oshima**, Madoka Akahori, Masakazu Wakai, Koji Tamakoshi, Makoto Hirai:
"Sleep stage, sleep fragmentation and heart rate variability during the initial 3-hour sleep period in patients with sleep apnea syndrome",
Sleep and Biological Rhythms (in press)

・森脇佳美、**大島千佳**、中山奈津紀、栗田　操、平井眞理
「虚血性心疾患患者の主観的および客観的睡眠指標と身体活動との関連性」
コ・メディカル形態機能学会（in press）

【２本】

③　その他論文（査読なし）

【０本】

④　学会発表

・森脇佳美、中山奈津紀、**大島千佳**、平井真理ら；
睡眠時無呼吸症候群における入眠初期の睡眠ステージおよび心拍変動
第 88 回日本循環器学会学術集会, 2024.3.19

・中山奈津紀、森脇佳美、**大島千佳**、平井真理ら；
循環器疾患患者における夜間の睡眠時間が自律神経活動指標に与える影響
第 88 回日本循環器学会学術集会, , 2024.3.19

・森脇佳美、中山奈津紀、**大島千佳**、平井真理ら；
睡眠時無呼吸症候群患者における睡眠ステージと自律神経活動指標
－入眠 1 時間における診断時と CPAP 治療 1 か月後の比較－
第 72 回日本心臓病学会学術集会, 2024.9.28

・中山奈津紀、森脇佳美、**大島千佳、**平井真理ら；
睡眠時無呼吸症候群における睡眠ステージ、睡眠分断と心拍変動の重症度による検討
―中等症および重症群における検討―
第 72 回日本心臓病学会学術集会, 2024.9.28

【4 件】

⑤その他の公表実績

大島千佳：・科研費を継続して取るコツ・チームつくりのコツ
福井県立大学看護福祉学部科研費セミナー. 2024.7.10

【1 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【科研費】

研究代表者

１．基盤（C）2024 年～2028 年
新たな睡眠援助技術の開発－腸内環境のコントロールによるアプローチ－

２．基盤（C）2019 年～2024 年
リンパ浮腫早期介入プログラム構築のための研究ー患部の内部構造に着目してー

共同研究者
３．基盤(B) 2023 年～2028 年
超音波画像解析を活用したオーダーメイドな看護介入のための新たな動脈硬化指標の開発
４．基盤(C) 2023 年～2026 年
続発性リンパ浮腫の評価とタンパク質動態：リンパ浮腫モデル動物を用いた基礎研究
５．基盤(C) 2022 年～2026 年
虚血性心疾患患者における生活習慣改善に向けた睡眠への看護介入指標の確立
リンパ浮腫評価指標の開発－皮膚表面構造はリンパ浮腫を評価できるか－

【学内】
研究代表者
６．戦略的課題研究推進支援 2024 年「越前チーズは県民に快適な睡眠を与えられるか」
共同研究者
７．看護福祉学部 KF 枠研究費 2024 年
ヨガ受講者の腸内細菌叢と食習慣の特徴

(3)特許等取得

なし

(4)学会活動等

・コ・メディカル・形態機能学会第 23 回学術集会　大会長　2024 年 9 月～2025 年 10 月
・コ・メディカル・形態機能学会：役員
・日本看護技術学会：査読委員
・日本看護科学学会：代議員
・福井県立大学論集査読担当

５．地域・社会貢献活動

５－１．学外団体における貢献（委員、調査、共同研究など）

・共同研究

「ヨガが腸内細菌叢と食習慣および睡眠状況に与える影響」

東知宏、大島千佳、笠井恭子、Chandra Yoga&Wellness

「高齢者の腸内環境に着目した睡眠改善プログラムが与える影響」

大島千佳、東知宏、笠井恭子、NTT パラビータ

・山形大学医学部看護学科同窓会　樹氷会　会長

５－２．大学主体の地域貢献活動

なし

６．大学運営への参画

(1)補職

なし

(2)委員会・チーム活動

・人権擁護・倫理委員会　生命科学・医学系研究部会　副部会長
年４回の倫理審査を行った。

・人権擁護・倫理委員会　生命科学・医学系研究部会　看護小部会長
看護小部会の開催回数を年５回に増やし、看護福祉学研究科看護学専攻および看護福祉学部看護学科の研究活動促進に貢献した。

・看護福祉学研究科看護学専攻　修士ワーキンググループ
広報活動として HP を立ち上げ、応募者の獲得に貢献した。

(3)学内行事への参加

・オープンキャンパス（模擬授業）

(4)その他、自発的活動など